

気候危機を 市は本気で打開へ！

9月議会報告

世界各地で異常気象が大問題になっています。この解決には、国連IPCCは温室効果ガスの排出を2030年までに45%削減(2010年比)し、2050年までにゼロを目標に掲げています。砂田市議は小矢部市としてどうするか、9月議会で質問しました。質問は右のQRコードで見ることができます。

若者たちにどんな社会を残すのか

【砂田市議】気候危機の問題では世界でも高校生の皆さんが立ちあがって訴えている。小矢部市にとっても、これからの社会を担う高校生や、子孫の時代にどんな社会を残していくのかが問われている。

日本共産党は2030年度までに温室効果ガスを50〜60%削減する方策を提案している(「2030戦略」)。省エネで30〜40%減らし、電力を再生可能エネルギーで40〜50%まかなえなくてはならない。

日本政府も、市も削減目標・計画が低い

【砂田市議】ところが、日本政府の温室効果ガス削減目標は42%(2010年比)で国連や他の先進国に比べて低すぎるうえ、①石炭火力の新増設と輸出、②原発依存、③実用化のメドも立っていない「新技術」を前提にしているという無責任なものである。

小矢部市の温暖化対策実行計画の見直しも必要ではないか。削減目標30%削減に挑戦すると述べた。国からの通知があり次第、本市の目標、対策の内容も見直していきたい。

すぐに取りかかれること・砂田市議の提案

- (1) 今度の補正予算で提案されている市役所庁舎北側窓枠の取り替えは、断熱効果を高めるために二重ガラスにする。公共施設で窓際に緑のカーテンを設置。
- (2) 公共施設の屋根に太陽光発電の設置を進める(国の目標は2030年までに50%、40年までに100%)。
- (3) 市役所として①ボイラーをペレット燃料に、②電気自動車と自転車の活用、③パークアンドライドの普及拡大(公共交通の活用と駐車場の活用)。

明るい小矢部

No. 211
2021年10・11月号
年4回6500部発行

発行
日本共産党
小矢部市委員会
小矢部市七社 245
砂田喜昭
TEL 67-4322
FAX 67-4842

日本共産党発行
赤旗
定価 349円
送料 930円




国が過剰在庫米の解消を

市議会 米価下落対策で意見書

9月議会で、「コロナ禍における米価下落対策を求める意見書」が議員提案で提出され、全員賛成で可決されました。国に対して、「米価の下落対策が必要」、「コメの需給バランスの安定化を図るため、過剰在庫の解消や備蓄米の運営改善」などを求めています。

ところがビツクリ

農民連の請願を不採択

しかし、農家の切実な声をもとに提出された農民連小矢部班の請願は、砂田議員のみの賛成で不採択とされました。反対した議員たちは討論をせず、「なぜ反対なのか」を述べられませんでした。農民連の請願は次の3項目の意見を国へ届けるよう求めていました。

1. 過剰在庫を政府が緊急に買入れ米価下落に歯止めを
2. 政府買い上げ米を生活困窮者・学生などへの食糧支援に
3. 外国産米の輸入を削減



砂田市議は請願への賛成討論で、「この請願を採択し、農家の声を率直、かつ明確に国に伝えて、意見書を補強しよう」と述べました。

砂田市議の討論は上のQRコードから見るができます。



ワクチンとともに大規模検査を

【砂田市議】コロナの厄介なところは、症状がなくても、人に感染させることだ。無症状の感染者を早く発見、保護し、他人に移さないようにする。そのためPCR検査が日本では世界で144番目、大変遅れている。コロナ感染対策でワクチン接種の促進とともに、県外出張や、学校などで大規模検査をする必要がある。

【民生部長】検査の有効性や費用対効果、先進自治体の事例を調査研究したい。



コロナ禍で苦しんでいるところへ、「真鍋淑郎さんがノーベル物理学賞を受賞」との明るいニュースが飛び込んだ。気候温暖化に関する基礎的研究が評価されたものだ▼真鍋さんを含め日本のノーベル賞受賞者のかなりの方々が、海外で研究されていることは気になる。さらに菅首相は就任時に、日本学術会議の会員6名を何の理由もあげずに任命拒否するという事件があった。この2つは関連するのではない▼真鍋さんは、「自分の得意分野で、自分の好奇心に従った一途の研究がノーベル物理学賞に結び付いた。米国では当時、地球温暖化問題はまだ無かったにも関わらず、政府は先行き判らぬ研究にも潤沢に研究費を回してくれた」と。また、「米国立科学アカデミーが政府に非常に効果的なアドバイスをしている」と述べていた▼一方日本では、政府の判断で研究費が増減されたり、先の任命拒否事件に象徴される学問の自由が脅かされたりするから、アメリカ等へ頭脳流出が起きているのではない▼ノーベル物理学賞を受賞した故益川敏英氏も、学術会議問題で「こんな乱暴なことをしたことは歴史上長く糾弾されるだろう」、「戦争の反省のうえにつくられた日本学術会議に汚点を残す」と痛烈に批判。科学にもとづく良心にしたがつて、時の政府に意見した人々を排除しては日本の将来は暗い▼益川氏はたびたび「しんぶん赤旗」に登場し国民連合政府と日本共産党への期待も語っていた。科学を無視する政治は、国民の手で変え、希望の持てる国づくりをしようではないか。